

後援会だより

札幌大学後援会広報誌

Vol.62

発行/札幌大学後援会事務局 発行日/2024年9月30日 〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1札幌大学内 TEL(011)852-9749(直) https://koenkai.sapporo-u.ac.jp

CONTENTS	
1面	男子・女子卓球部
2面	令和6年度後援会総会、保護者懇談会を開催
3面	第1回玄天祭 就職活動支援と就職状況
4面	令和5年度事業活動及び令和6年度事業計画

「北海道の歴史を塗り替える」を合言葉に、活躍を続ける卓球部の挑戦

札幌大学には開学と同時に創部された卓球部があり、長年の実績に加え、近年は「北海道の歴史を塗り替える」を合言葉に、ワンランク上の舞台を目指す新たなチャレンジを続けています。そこで今回は監督兼顧問の藤倉さんと、これまで部を牽引してきた4年生、そして今後を担う3年生に、その強さの秘密をお聞きしました。

●インタビュー参加者

- 藤倉 健太さん
卓球部監督兼顧問
- 伊藤 楓真さん
(リベラルアーツ専攻4年生)
- 市嶋 ほのみさん
(英語専攻4年生)
- 小野 彰吾さん
(リベラルアーツ専攻3年生)
- 松野 蘭さん
(リベラルアーツ専攻3年生)

高いモチベーションで低迷期を克服

札幌大学の開学と同時に発足した卓球部は、長年にわたって北海道学生1部リーグから一度も降格することなく、好成績を残しています。全日本大学総合卓球選手権大会(通称インカレ)には、7年連続で出場し、2024年には決勝トーナメントに進出。全日本選手権にも2022年以降、連続出場中です。こうした強さの背景には、さまざまな取り組みや努力がありました。



「創部以来の長い歴史のなかでは、7年前に私が加わり、もともとの監督と二人体制になりました。ちょうどそのとき、北海道でインカレが開催されることになり、この機会に女子も復活させようという条件がありました。4人集めなければ団体戦に出られないという条件があり、部員集めから活動をスタート。「苦労しましたが、結果的に6名の学生が来てくれました。さらに幸運なことに、北海道予選でライバル校に勝って優勝し、全国大会でも予選突破できたんです。その結果を見て強い学生が入ってくるようになります。良い循環が生まれたと言えます。」

「最初に集まった6名は、全国大会に出ている学校から来たのですが、レギュラーではなかったんです。でも札幌大でがんばればチャンスが開けるかもしれない、高いモチベーションで練習に励んでくれました。」その結果、7年連続で全国に出場するほどの好成績を修めるまでになったそうで、ここに復活の第一歩が記されました。

「7年前に私が加わり、もともとの監督と二人体制になりました。ちょうどそのとき、北海道でインカレが開催されることになり、この機会に女子も復活させようという条件がありました。4人集めなければ団体戦に出られないという条件があり、部員集めから活動をスタート。「苦労しましたが、結果的に6名の学生が来てくれました。さらに幸運なことに、北海道予選でライバル校に勝って優勝し、全国大会でも予選突破できたんです。その結果を見て強い学生が入ってくるようになります。良い循環が生まれたと言えます。」

学生の頑張りに応える支援体制を強化

こうして復活した女子が部を牽引するカタチで、実力もモチベーションも格段にアップしていききました。学生たちの頑張りにも大学側も応えたいと、サポート強化に乗り出しました。「まずは環境づくりですね。優秀な学生が道外に流れないように、卓球部にも特待生制度を導入したり、後援会などの補助金や企業からの援助など、支援体制を整えていきました。」その結果、「道内で卓球を続けるなら札幌大学」と言われるようになり、実際に道内で進学を希望する学生の受け皿となつて、有望な選手が入学してくるようになったと言います。

「まずは環境づくりですね。優秀な学生が道外に流れないように、卓球部にも特待生制度を導入したり、後援会などの補助金や企業からの援助など、支援体制を整えていきました。」その結果、「道内で卓球を続けるなら札幌大学」と言われるようになり、実際に道内で進学を希望する学生の受け皿となつて、有望な選手が入学してくるようになったと言います。



上段左から 市嶋さん、伊藤さん、藤倉監督
下段左から 松野さん、小野さん

練習を通じて磨く技術と人間性

それでは日頃の練習は、どのような取り組みか。男子のキャプテンを務めてきた4年生の伊藤さんは、「限られた時間のなかで、自分たちで考えたメニューをこなしています。同じ人ばかりを相手に練習するのはなく、なるべく別の人と組んで練習するように声掛けをしてきました。」

「高校時代の実績はなくても、本学で大会への出場チャンスがあるとなれば、俄然やる気を出して急に伸びる学生もいます。そんな学生は真摯に練習に取り組むし、勉強も一生懸命にやります。日頃のわずかな練習の積み重ねが、2、3時間の練習にも身が入っています。私は必ず本人と直接面談してスカウトするんですが、そうした自主管理ができるかどうか、そこを見極めたうえで入学を勧めます。これに続き、「技術指導など、具体的な活動のほうには総監督、コーチを中心に携わっています。私は部員全員とコミュニケーションを密にすることで、学業や生活面をサポートすることで、学生に充実したキャンパスライフを送ってもらうための役割を中心に担当しています」とも、こうした支援に応えるように、学生たちも、卓球部員として

卓球を通じ、留萌市との地域連携

札幌では近年、道内各地域との連携を推進しており、その一つに留萌市との交流があります。以前から卓球で町おこしを図っていた留萌市と卓球部が交流を深めていたこともあり、ともに活気ある町づくりをめ



ざしていかうという観点で、2024年3月に大学と留萌市が包括連携協定を締結。その具体的な取り組みとして、2024年5月に「市民向け卓球教室」を開催しました。卓球部も強化合宿をかねて、学生を派遣。小さなお子さまから高齢の方まで、幅広い年齢層を対象に、学生が卓球の指導にあたりました。参加した学生は、「競技としてはなく、純粋な卓球の楽しさを思い出すことができました」と笑顔。なかには教職課程を履修している学生や、将来指導者を目指す学生もいることから、貴重な学びの機会となりました。



より手厚いサポートを目標に、令和6年度の事業計画を決定！ 保護者懇談会では、熱心な話し合いも 後援会総会・保護者懇談会を開催

令和6年度「後援会総会」を、6月1日(土)に開催しました。総会では令和5年度の事業報告と収支決算を報告し、令和6年度の事業計画と収支予算をご承認をいただきました。また、大学との共催による「保護者懇談会」を開催。札幌大学の学びや成績の通知に関する報告のほか、保護者の皆様がもっとも関心を寄せる就職情報について、近年の状況をお知らせしました。個別面談は、今後の学生生活に向けて有意義な話し合いの場となりました。

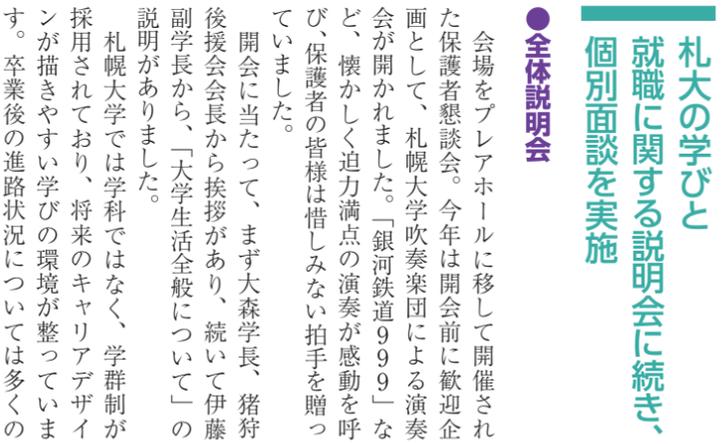
《後援会総会》

課外活動をはじめとして、
学生の各種活動に
一層の援助を決定！

後援会では、学生の成長を後押しするため、学修や課外活動に対して様々な支援を行っています。今年度は課外活動の全国大会遠征等への援助金を増額したほか、大学が学生のために実施する各種事

業への援助も強化することとしました。具体的には大学祭への出店促進や初年次ゼミの充実、海外留学や学生の地域連携活動に対しても今年度から新たに援助を行うこととしました。

こうした事業計画について保護者の皆様からご承認いただき、続いて大学への援助金の贈呈式が行われました。猪狩会長から大森学長に目録が手渡され、「本年度も学生の学修、生活、就職支援に、有効に利用させていただきます」と、謝辞が述べられました。



《保護者懇談会》

札大の学びと 就職に関する説明会に続き、 個別面談を実施

●全体説明会

会場をプレアホールに移して開催された保護者懇談会。今年度は開会前に歓迎企画として、札幌大学吹奏楽団による演奏会が開かれました。「銀河鉄道999」など、懐かしき迫力満点の演奏が感動を呼び、保護者の皆様は惜しみない拍手を贈っていました。

開会に当たって、まず大森学長、猪狩後援会会長から挨拶があり、続いて伊藤副学長から、「大学生活全般について」の説明がありました。札幌大学では学科ではなく、学群制が採用されており、将来のキャリアデザインが描きやすい学びの環境が整っています。卒業後の進路状況については多くの



教員を輩出している点も紹介されました。札幌大学では8専攻のうち、6専攻で教員免許取得が可能となっていることに、改めて驚かれています。保護者の方も少なくなりました。

次に現役学生からリアルなキャンパスライフを聞くコーナーが設けられ、「私の大学生生活」と題して発表が行われました。歴史文化専攻4年の小野寺さんは、公務員になるための努力の日々を、英語専攻の太田さんは、英語教師を目指し、教職課程における学びについて語ってくれました。卒業後の明確なビジョンを語り、そのキャリアプランの実現に向け、残りの大学生活をどのように過ごしていくかという2人の発表は、保護者の皆様にも大きな刺激を与えたことと思います。同時に、今を生きる大学生の本音と苦悩、そしてたくましさを感じられるレポートとなったようです。

●個別面談会

個別面談は保護者と教員、職員が対面により、お子様一人ひとりの学修状況や生活、さらに将来の進路について話し合う貴重な機会です。日頃の学びや今後の指導について、大学と保護者がどのように連携していくかなど、熱心な意見交換が行われました。

盛況のうちに終了した保護者懇談会は有意義な時間となり、来年度に向け、内容をますます充実させていく方針です。



後援会 猪狩哲夫会長の挨拶

本日は大変お忙しい中、保護者懇談会にご出席いただきありがとうございます。また日頃より後援会の活動にご理解・ご協力を賜り重ねてお礼申し上げます。

先ほど後援会の総会を開催し、昨年度の決算関係及び今年度の事業計画案等が承認されましたことを報告します。

この保護者懇談会は、平成18年から、保護者の皆様と大学との相互理解をより一層深めるために大学と後援会が一緒になって開催しています。ここ札幌会場は旭川・北見・釧路・帯広・室蘭・苫小牧・函館のほか、本州では青森、そして隔年で盛岡・秋田で開催しており、今年度は秋田で開催します。

せっかくの機会ですので大学又は後援会等にご要望あれば忌憚のないご意見をお願いします。

後援会の事業内容を簡単に説明します。後援会の事業は、毎年大学の方針、学生の声を聴き事業に反映させています。

事業は三本柱で構成されます。一つは後援会が学生の活動に対して直接支援するもので、大学祭や課外活動の遠征費の補助などです。特に近年

札幌大学後援会役員名簿

(令和6年6月1日現在)

役職	氏名	担当	備考
会長	猪狩 哲夫	総括・広報	再任
副会長	日浦 和長	事業委員長	再任
〃	庄子 史人	事業	再任
〃	酒井 春樹	財務	再任 (運営委員→副会長)
〃	大塚 知明	財務	新任
監事	戸井 敏夫		再任
〃	岩橋 忠徳		再任
運営委員	上野 洋子	広報	再任
〃	谷口 紀代美	広報	再任

年課外活動の活躍が素晴らしいものがあり、昨年度は予算が大きくオーバーして嬉しい悲鳴を上げています。二つめが学生のために大学が主体となって実施する事業に対する支援です。札幌大学奨学金制度、学外研修、資格取得・受験対策などですが、今年度からは新たに学生の満足度向上や大学祭の活性化のため、各ゼミや課外活動の出店を促す制度への補助なども行います。三つめが後援会の活動として、この保護者懇談会の開催や、大学・学生の取組や活動内容を皆様にお知らせする後援会だよりなどです。特に後援会だよりは、年2回、より内容を充実させ皆様にお伝えしていきます。大学を取り巻く環境も大変厳しいものがありますが、後援会としてはお子様を勉学や課外活動を通じて充実した学校生活を送り、立派に社会に巣立っていきますように、また、皆様方に置かれてもお子様を札幌大学に入学させて本当に良かったと思えるように、これからも大学と一緒に頑張ってまいります。最後に皆様のご健勝・ご多幸を心からお祈り申し上げ挨拶に代えさせていただきます。本日はご出席ありがとうございました。

新たな歴史を築こうと、熱意と願いを込めて、 第1回玄天祭を開催！ 実行委員としての活動を通じて得られた、自信と成長！

これまでの大学祭・文連祭をリニューアル。新たに「玄天祭」とネーミングを一新し、このたび、記念すべき第1回目が開催されました。「にしおか地区まつり」や「まちづくりフェスタ」との同時開催で、6,500人が来場！ 同イベントの企画・運営を行った実行委員に、その奮闘ぶりをお聞きしました。

●インタビュー参加者

事務局進行局・局長 西野 友梨さん
(歴史文化専攻3年生)

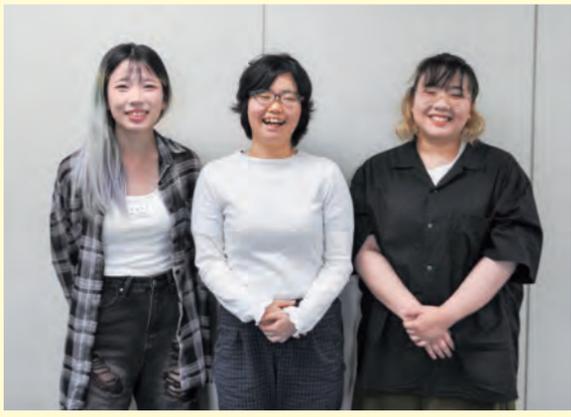
情報宣伝局 西村 咲楽桜さん
(歴史文化専攻3年生)

情報宣伝局 富田 里佳さん
(英語専攻2年生)

玄天に原点の意味もかけて…

日差しに夏の兆しを感じられた6月15日(土)、本学の大学祭が開催されました。今年度は「大学祭」「文連祭」という名称を一新。「玄天祭」という新たな名のもと、リニューアル開催されました。ネーミングの発案は、大学祭実行委員会一同によるもの。その一人、西野さんは、「メンバー全員で話し合い、内容も見直して、未来に繋がる挑戦をしよう」と決めました。

「玄天」とは北方の空、天にある太陽、月、星を指す言葉。西野さんは、「玄天には、同音異義語の『原点』という意味もかけていて、大学祭の基本理念を忘れることなく、



左から 西野さん、富田さん、西村さん



この北海道の地で輝き続けるお祭りにしたという願いを込めました」といいます。

活動を通して成長できたこと…

実行委員会は半年前から活動を開始。ステージイベントなどの企画や模擬店出店者との調整、それに伴う予算管理、タイムスケジュールの確認、ポスターやチラシの制作のほか、同時開催の「にしおか地区まつり」を主催する西岡町連・商工振興会など、学内外の方たちとのミーティングなど、さまざまな準備を進めてきました。「数日前から大学に泊まり込んで準備し、設営作業、ステージイベントのリハーサルなど、とにかく忙しかったです。前日は緊張感で眠れませんでした」と、西野さん。蓋を開けてみると、当日は予想を大きく上回る、延べ6,500人の来場者があり、メインストリートにはズラリと模擬店が並び、ステージではお笑い芸人のライブやよさこい演舞が披露されるなど、多くの観衆で賑わいました。さらに校舎内では、文化系サークルによる趣向を凝らしたワークショップや展示会も開かれ、こちらも活況を呈したと言います。一方で、「想定を上回る来場者で、ゴミがあふれてしまったんです。分別して捨ててもらえるような工夫をする

ことも、来年の課題です」と、経験から得られた教訓を後輩に託していました。

うれしかった来場者から掛けられた声

宣伝担当の西村さんは、「リーフレットが当日納品になるというハプニングがありました。それに抽選会の番号を、日付印鑑で捺印するんですが、いざ捺印してみると、インクがこすれて汚れてしまう事態が生じました。急遽、上からテープを貼って対処しましたが、こうして予期せぬできごとへの柔軟な対応も、成長できた点だと思います」と、安堵の表情を湛えていました。同じく実行委員の富田さんも、「以前は言いたいことがあっても言えないタイプでしたが、実行委員会の活動を進めていくうちに、そんなことも言っていられない状況におかれ、いつの間にか伝えなければならぬことは、発言できるようになっていました」といいます。また富田さんは、「当日、来場者の方から『頑張ってる』と声をかけられたんです。あれは本当にうれしかったです。実行委員になって良かったと思います」と。それが、「来年も実行委員を続けたい」というモチベーションに繋がっていると言います。



地域とともに目指す活性化

大学祭という大きなイベントを成功させるために、パソコンスキルやコミュニケーション力、会計処理能力、さらにチームワークやリーダーシップなど、実行委員会にはさまざまな仕事が必要とされます。それだけに、「誰もが、なにか得意なことを生かせる機会や舞台が、必ずあります」と3人は言います。そして、その達成感や成功体験は、学生にとってかけがえのない貴重な経験となり、自信にも繋がっていきます。こうした学生たちの成長を見守る大学側も、「地域に根付いた教育機関として、豊平区・西岡とともに、さまざまな活動に取り組んできました。これに「玄天祭」も加わり、ますます地域の活性化や発展に貢献できるように、一体となって盛り上げていきたいと考えています」と今後の抱負を述べています。「玄天祭」の第2回開催が今から楽しみです。



【就職課より】「就職課スチューデント・ジョブ」今春より始動

就職課スチューデント・ジョブ(SJ)とは、本学の学生が就職課の業務をサポートする制度で、今年度からの新しい取り組みです。学生が就職活動に関わる知識を習得するとともに、コミュニケーション力や社会人マナーなど幅広い能力を身に付け、人間性・社会性を醸成することを目的としています。また、学生目線での提案や意見を反映し、キャリアサポートセンターの利用促進や活性化に繋がります。現在は2~4年生の学生が所属しており、インスタグラムでの就職活動情報の投稿やフォロワー獲得、ニュースレター作成など、広報活動に力を入れています。また、「企業のパンフレットなどがただずらりと並ぶ掲示板は

見る気がしない」という学生の声に応え、SJオリジナルの就職課キャラクター「キャリアニャン」やポップを活用し、見やすさの向上に取り組んでいます。SJ4年生は「幅広い企業を知ることができるだけでなく、キャリアサポートセンターを利用しやすくなるためにどのような工夫が必要かなど、自分で考えて行動する力が以前より身に付いたと思います。新たな取り組みも考えて行っていきたいです」と環境改善に注力しています。一方で、SJ3年生は、企業との交流経験を積極的に行っており、「自分の就職活動に役立つ知識やタイムリーな情報も詳しく知ることができ、とても勉強になっています。今後は他の学生の就職活動についての相談を受け



てみたいです」と、就職活動のフォローにも意欲的です。授業の空き時間を活用し、週1、2日で1日3時間程度という短い時間ではありますが、なかなか成果が顕れないことにも諦めずに取り組む姿勢が印象的で、今後のSJの成長とキャリアサポートセンター利用者の増加に期待しています。

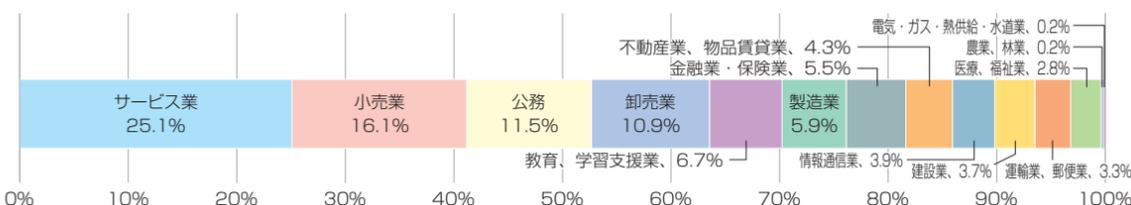
■ 令和5年度就職決定状況

(令和6年5月1日現在)

	卒業者	就職希望者	就職者	就職決定率	進学者	非就職者
地域共創学群	654人	573人	541人	94.4%	10人	103人

■ 令和5年度業種別就職先

(令和6年5月1日現在)



■ 令和6年3月卒業生の主な就職先

北海道旅客鉄道/北海道電力/札幌トヨタ自動車/トヨタモビリティパーツ/タマホーム/良品計画/柳月/北海道丸和ロジスティクス/常口アトム/一条工務店/ローソン/ヨドバシカメラ/ヨコハマタイヤジャパン/ホクレン商事/ツルハ/つうけん/DCM/サッポロドラッグストア/イオン北海道/AIRDO/日本銀行/北洋銀行/北海道銀行/北海道信用金庫/日本郵政/日本生命保険/第一生命保険/住友生命保険/税理士法人池田会計事務所/税理士法人スバル合同会計/ANA新千歳空港/札幌市交通事業振興公社/SATO社会保険労務士法人/BDO税理士法人/札幌市農業協同組合/公立学校共済組合/札幌市職員/国家公務員一般職/刑務官/労働基準監督官/北海道職員/北海道警察/公立学校教員特別支援学校/公立学校教員中学校/公立学校教員高等学校

令和5年度事業活動及び令和6年度事業計画

令和5年度事業活動

(1) 会費納入状況

- ①第1種会員：3,031人、加入率 96.87%
【大学：3,025人、加入率 96.89% 大学院：6人、加入率 83.33%】
- ②第2種会員：23人 (38口)
- ③第3種会員：なし

(2) 補助事業

①課外活動への補助 補助金交付団体及び補助金額は次の一覧のとおり。
(令和6年3月末現在)

交付団体名	大会名	支出金額
男子バドミントン部	第74回全日本学生バドミントン選手権大会	40,000
	令和5年度文部科学大臣杯争奪 第11回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会	15,000
女子バドミントン部	第74回全日本学生バドミントン選手権大会	80,000
男女バドミントン部	第66回東日本学生バドミントン選手権大会	690,000
サッカー部	アットホームカップ2023 インテペンデンスリーグ全日本大学サッカーフェスティバル	330,000
	第7回全日本大学サッカー新人戦 2023年度第72回全日本大学サッカー選手権大会	525,000 360,000
女子サッカー部	第45回JFA皇后杯全日本女子サッカー選手権大会	190,000
	第32回全日本大学女子サッカー選手権大会	475,000
	大学女子サッカー地域対抗戦2024 DENSO CUP SOCCER 第2回大学女子日韓(韓国)定期戦	225,000 20,000
男子バレーボール部	ミキブルーンスーパーカレッジバレー2023 2023年度第42回東日本バレーボール大学選手権大会	345,000 285,000
	2023年度第42回東日本バレーボール大学選手権大会	225,000
女子バレーボール部	第70回秩父宮妃賜全日本バレーボール大学女子選手権大会	210,000
	2023年第24回西日本大学バレーボール学連女子選抜対抗戦	25,000
スケート部	第24回大学アイスホッケー交流戦苫小牧大会(全国大会)	285,000
	第96回日本学生氷上競技選手権大会	375,000
男子バスケットボール部	第75回全日本大学バスケットボール選手権大会	625,000
チアリーディング部	第35回全日本学生チアリーディング選手権大会	45,000
ハンドボール部	令和5年度東日本学生ハンドボール選手権大会(8月)	460,000
	令和5年度全日本学生ハンドボール選手権大会(11月)	345,000
柔道部	全日本学生柔道優勝大会	195,000
	第44回北信越国民体育大会	20,000
	全日本学生柔道体重別選手権大会	225,000
	全日本学生柔道体重別団体優勝大会	280,000
	第20回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会 第3回高橋杯北日本学生柔道錬成大会	100,000 600,000
準硬式野球部	清瀬杯第55回全日本大学選抜準硬式野球大会	480,000
	第41回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	50,000
卓球部	第92回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)	375,000
	第89回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)	220,000
	第19回全日本学生選抜卓球選手権大会	15,000
	天皇杯・皇后杯2024年全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)	30,000
	第63回大阪国際招待卓球選手権大会 第76回東京卓球選手権大会	60,000 30,000
女子剣道部	全日本女子学生剣道優勝大会	120,000
男子剣道部	全日本学生剣道優勝大会	200,000
剣道部	第71回全日本学生剣道選手権大会、第57回全日本女子学生剣道選手権大会、 第70回全日本学生剣道東西対抗試合、第17回全日本女子学生剣道東西対抗試合	120,000
	第92回日本学生陸上競技対校選手権大会	100,000
陸上競技部	第45回北日本大学学生陸上競技対校選手権大会	1,020,000
	第14回エコパトラックゲームス	120,000
	秋季島大カーニバル	60,000
よさこいソーラン研究会Lafete	白老町の八幡神社で開催された例大祭のYOSAKOIイベント	50,000
吹奏楽団	K金管楽器コンクール	44,000
民俗音楽研究部	新1年生初ライブ	40,000
21団体		

課外活動への補助金合計 10,729,000円

- ② 札幌大学奨学金への資金援助6,500,000円
 - ③ 札幌大学学外研修援助金2,000,000円
 - ④ 札幌大学資格取得等奨励援助金1,000,000円
 - ⑤ ラーニングcommonsへの支援3,500,000円
 - ⑥ 学生ボランティア対応200,000円
 - ⑦ 入学記念品及び卒業記念品援助金500,000円
 - ⑧ 札幌大学大学祭・文連祭への補助金200,000円
 - ⑨ 学生用図書費の援助500,000円
 - ⑩ 図書カード(大学院生への補助)25,000円
 - ⑪ 札幌大学保護者懇談会に係る旅費への補助金772,983円
 - ⑫ 令和5年度札幌大学合同卒業記念祝賀会への補助500,000円
- 補助費支出合計 26,426,983円

(3) 令和5年度 保護者懇談会実施状況

開催地	会場	開催日
札幌	①札幌大学	6月3日(土)
札幌	②札幌大学	9月17日(日)
北見	③北見経済センター	9月9日(土)
旭川	④旭川勤労者福祉会館	9月10日(日)
釧路	⑤釧路ロイヤルインホテル	9月8日(金)
帯広	⑥ホテルグランテラス帯広	9月7日(木)
青森	⑦ホテルJALシティ青森	9月2日(土)
岩手	⑧アイーナ いわて県民情報交流センター	9月1日(金)
室蘭	⑨栗林商会アリーナ	9月3日(日)
函館	⑩函館国際ホテル	9月3日(日)
苫小牧	⑪グランドホテルニュー王子	9月2日(土)

保護者懇談会では就職をはじめ、さまざまなご質問やご相談にもお応えしております。地方の方は参加しやすい主要都市での開催に是非ともご参加下さい。

(4) 【広報活動について】 「後援会だより」を令和5年9月30日付と令和6年3月31日付の年2回発行

(5) 札幌大学後援会総会 (第1回)日時:令和5年6月3日(土) 場所:札幌大学 8303教室(SUcole 3階)

(6) 札幌大学後援会役員会 (第1回)日時:令和5年5月16日(火) 場所:札幌大学 第一会議室(中央棟2階)

令和5年度札幌大学後援会決算書

令和5年度収支計算書(自令和5年4月1日 至令和6年3月31日) 単位:円

科目	予算	決算額	増・減
収入の部			
前年度繰越金	85,660,038	85,660,038	0
第一種会員会費	30,330,000	29,340,000	△990,000
第二種会員会費	120,000	114,000	△6,000
第三種会員会費	0	0	0
利息	1,000	935	△65
基金取崩収入	0	0	0
合計	116,111,038	115,114,973	△996,065
支出の部			
基金充当金	0	0	0
補助費	22,725,000	26,426,983	3,701,983
消耗品費	60,000	29,798	△30,202
旅費交通費	600,000	271,580	△328,420
印刷費	1,300,000	1,072,060	△227,940
通信費	1,200,000	926,594	△273,406
支払手数料	20,000	11,425	△8,575
会議渉外費	2,000,000	508,533	△1,491,467
委託管理費	510,000	501,600	△8,400
予備費	80,000	0	△80,000
寄付金	0	0	0
備品費	0	0	0
小計	28,495,000	29,748,573	1,253,573
当年度収支差額(次年度繰越金)	87,616,038	85,366,400	△2,249,638
合計	116,111,038	115,114,973	△996,065

令和5年度資産(現預金)・基金内訳表(令和6年3月31日現在) 単位:円

勘定科目	前年度繰越金	3月末	増減
《資産の部》			
現金(事務室保管)	17,195	56,286	39,091
普通預金(北海道銀行西岡)	68,992,700	68,581,399	△411,301
普通預金(北洋銀行豊平)	16,650,143	16,728,715	78,572
基金(北海道銀行西岡)	21,000,000	21,000,000	0
基金(北洋銀行澄川)	0	0	0
資産合計	106,660,038	106,366,400	△293,638
《基金の部》			
基金(北海道銀行西岡)	21,000,000	21,000,000	0
基金(北洋銀行澄川)	0	0	0
収支差額(次年度繰越金)	85,660,038	85,366,400	△293,638
基金合計	106,660,038	106,366,400	△293,638

令和6年度事業計画

在学生を支援の主たる対象とし、各種支援事業を実施します。

1. 後援会総会の開催

2. 支援事業

(1) 学生の活動に対する支援経費

- ①学生の課外活動への援助(全国大会出場遠征費の一部補助、文化系サークル活動費補助)、
- ②表彰(国際大会、全国大会等で特に優秀な成績を取めた団体・個人等への表彰)、
- ③卒業記念祝賀会に対する援助、
- ④大学院生に対する援助(図書カードの支援)、
- ⑤大学祭、文連祭に対する援助、
- ⑥入学記念品及び卒業記念品に対する援助

(2) 学生のために大学が主体となって実施する事業に対する支援(目録事業)

- ①学生ボランティア対応費への補助、
- ②学外研修への資金援助、
- ③資格取得・受験対策への資金援助、
- ④札幌大学奨学金への資金援助(生活支援奨学金・家計急変等支援対策への支援)、
- ⑤学生用図書費の援助(学生が求める図書資料購入の援助)、
- ⑥大学祭出店への援助(新規)、
- ⑦初年次教育の充実への援助(新規)、
- ⑧海外留学研修補助(新規)、
- ⑨課外活動に対する補助(新規)、
- ⑩包括連携事業の活動費への支援(新規)

3. 保護者懇談会の開催等、後援会活動経費

4. 広報活動(「後援会だより」の発行)

令和6年度収支予算

収入の部 単位:円

科目	令和5年度決算	令和6年度予算(案)	増減額(⑤・⑥比)	摘要
前年度繰越金	85,366,400	85,072,762	△293,638	
第1種会員会費	29,340,000	28,870,000	△470,000	10,000円×2,887人=28,870,000(大学2,880人、大学院7人)
第2種会員会費	114,000	120,000	6,000	3,000円×40口(⑤38口)
第3種会員会費	0	0	0	
受取利息	935	1,000	65	
基金取崩収入	0	0	0	
合計	114,821,335	114,063,762	△757,573	

支出の部 単位:円

科目	令和5年度決算	令和6年度予算(案)	増減額(⑤・⑥比)	摘要
基金充当金	0	0	0	
補助費	26,426,983	26,735,000	308,017	学生の活動に対する支援事業(13,035,000円)学生のために大学が主体となって行う事業に対する支援(13,700,000円)
消耗品費	29,798	60,000	30,202	事務用消耗品(ファイル等)コピー用紙
旅費交通費	271,580	600,000	328,420	役員会、保護者懇談会(地方)
印刷費	1,072,060	1,300,000	227,940	封筒作成 会報作成(後援会だより) 印字 その他印刷
通信費	926,594	1,200,000	273,406	後援会だより発送作業・発送費、会費納入案内役員会、総会案内・保護者懇談会の案内他
支払手数料	11,425	20,000	8,575	会費納入振込手数料・業者への振込手数料
会議渉外費	508,533	2,000,000	1,491,467	役員会会議費、総会・札幌会場保護者懇談会参加者昼食費、地方会場費 祝儀等
委託管理費	501,600	510,000	8,400	後援会サイトレンタルサーバ月額使用料
備品購入費	0	0	0	
予備費	0	80,000	80,000	
小計	29,748,573	32,505,000	2,756,427	
次年度繰越金	85,072,762	81,558,762	△3,514,000	
合計	114,821,335	114,063,762	△757,573	